

変えなくっちゃ!上尾

第17号・発行/あさのめ後援会・「次世代市長の会」

扉を開けろ!

広域合併で未来を切り開け

合併賛成に〇を

★私は、昨年二月、上尾市長選挙に立候補した浅野目です。二万票に至らんとする大量票を頂戴しながら、一年五ヶ月前、新井弘治氏に敗北しました。

★新井氏は市長選挙にあたり、「政令指定都市の推進」を公約に掲げていました。(このチラシ裏面に両者の選挙公報掲載)。政治家が嘘をつくか否かで、当然厳しく市民からの評価は決定されます。

★許せないことに、初めからヤル気のなかった合併構想だったので、事実口では言っていた合併政令市問題は、前任

期の四年間も一ミリも進みませんでした。

★ウソの公約を選挙に利用した市長には、厳しい追及がされて当然です。七月二十九日は第二の市長選挙です。市民の怒りの声を、投票にぶつけて下さい。

昨年の上尾市長選挙で発行した私、浅野目のチラシから →



口では「4市1町」と言いながら、実際にはこの4年間、「合併政令市問題」は何も進みませんでした。

★合併をすることの危険を訴えるために上尾市は広報紙を過日発行しました。同紙の「借金はいくら」と比較して少ないという内容を見た多くの上尾市民が笑っています。旧大宮、与野、浦和の三市の借金額総計を足したものととの比較だったからです。

★上尾市には1千億を超える借金が厳然と存在しています。マヤカシの他市との比較で市民をダマそうとするのも結構ですが、わが国全体の構造改革の視点は、一体どこにあるのでしょうか。

★日本の予算総額は、約



新井市政になってから市債(借金)が急増。經常収支比率も「赤信号」の90%を超えています。

85兆円。累積の国債総額(借金)は670兆円。日本の危機をどうにかしなければと国民が思っています。上尾の南でも北でも合併を起爆剤にして、財政強固を図ろうとしている情勢の時、どうして上尾だけの自立が果たされるのでしょうか。

昨年の上尾市長選挙で発行した私、浅野目のチラシから ←

あさのめ後援会 次世代市長の会

362-0021 埼玉県上尾市原市 3757-9

phone...048-723-0655

email...asanome@netweb.ne.jp

『ご意見』をお待ちしています。

http://www01.netweb.ne.jp/~asanome/

HAND TO HAND ●このチラシを手から手へ

皆さんの力を結集して上尾を変えましょう!

(資料)

上尾再生
のために、7/29(日)は、
賛成に○印を

昨年の上尾市長選挙の際の両者の「選挙公報」。両者とも「合併問題」を公約にしていました。しかし、新井氏は現在「合併に×印を」と市役所職員を強引にフル回転させて絶叫しています。

21世紀への確かな手ごたえ

未来への夢と希望をもてる街づくりを市民と進めています



○上尾市長
○市議二期八年
○県議三期九年

新井弘治

今こそ、上尾市の立場が多くの市町村に認められ注目されている時です。

都市づくりの基本である市民本位の市政
市民参加の道を大きく開いた上尾市の発展を、
市民の皆さまと力を合わせて、
さらに進めていきます。

約束(誓約)

- 一、福祉・医療の充実(少子・長寿社会「介護保険」への対応)
- 一、青少年の健全育成の推進(児童館の完成と子育て支援事業の促進)
- 一、安心して住める上尾づくり(防災の徹底と街灯増設、明るい街づくり)
- 一、商工業や都市農業の育成と振興(活力ある経済の再生と雇用の増大)
- 一、上尾らしさの活かせる政令指定都市の推進(行革と広域行政による行政のスリム化)
- 一、葬祭センター(火葬場)は地域のご理解をいただき、前進しました(平成十四年度完成目標)

21世紀が呼んでいる!



〈無所属〉浅野目義英

あさののめ [41歳]

現状か未来か「上尾再生計画」=6大公約

主役は皆さん一人ひとり。主役はあくまでも市民の皆さんです。私は、政党や企業などの推薦を受けずに皆さんとともに「上尾再生」をめざします。

公約1 「財政再生」から「上尾再生」へ

- ケタはずれな借金体質から脱却し財政強化で上尾を蘇生させます。
- 次世代に莫大なツケが回るハコモノ建設中心主義を徹底的に見直し。
- 市民びとりりとりが主役です。政策決定過程を市民の手に戻します。
- 貴の資産は市民に全面公開し、再生プログラムを強力に推進します。
- ボランティア団体も、元気に各団体への補助金交付は公募制にします。

公約2 「都市の融合」から「都市の合併」へ

- 私たちは市場を意欲せず生活しています。都市は融合、連携、合併と進化していきます。
- 合併・政令指定都市は、3市だけで完結させません。上尾を空回りさせません。
- そのための「リエーション」ある政策の構築をします。新生上尾をつくります。

公約3 「市長が変われば、上尾が変わる」

- もっともと聞かれた市政を、市民中心の市政をつくりまします。
- 「税金は市民からお預かりしているもの」の意識を徹底させます。
- 24時間市長とE-mail、インターネット、自安指、市長とFaxを設置します。
- 審議会等委員の女性登用、世代別選出、公募制を導入します。

私の公約はスローガンではありません!

公約4 「すべての命を守り育てる」

- 私たちは、未来世代にこの上尾を手渡していく責任があります。
- 乳幼児、子ども、高齢者などあらゆる世代の命を守るため、救急システムの迅速化とネットワーク化をはかります。
- 一人暮らしの高齢者へのベンチ・ボットヘルを充実させます。
- 森、川を守り、動植物の命を守ります。
- 各学校のみどり花をふやします。
- ハンディをもった人が希望と勇気をもてるまことにします。

公約5 「地域商店街・地元中小企業を元気に」

- 商店街はそれぞれ私たち地域の顔です。
- 商工会議所との連携を強化させ、福祉・環境行政とタイアップした新事業の育成などをはかります。
- 地元企業を中心とした公共事業対策を策じます。
- 地域の商店街に「元氣」が戻るまちづくりをします。

公約6 「環境を守り、災害に強いまちづくりを」

- 今、地球は重病です。地域の地道な政策が地球を救います。
- ソフトエネルギーの積極的な活用を推進し、リサイクルシステムの徹底を構築させます。
- 貯留雨水槽の設置を進め、環境と災害に役立ちます。

情報挑戦 熱戦 行動力

明治維新 戦後の激動期：青年の挑戦が時代の危機を救ってきた。政治は全ての人の意思と、全ての人の税で時代はありまします。政治は全ての人の幸せをつくるものとの信念をもち、情熱を燃やします。市長の仕事は「こうなればいいな」と思うことではなく、「こうしなければ」と行動することです。市長が行ったことは上尾は元氣になれまします。

変えなくっちゃ!
上尾

浅野目 義英(あさの のめ よしひで)プロフィール ●昭和33年東京生まれ。東立上尾高校、法政大学社会学部卒。新自由クラブ青年協議会全国連合副代表、福川北小教師を経て、●昭和58年、25歳全県最年少で上尾市議会議員初当選、4期連続当選。その後、37歳全県最年少で市議会議員に就任。政令指定都市推進協議会会長、4市1町議員懇話会上尾市幹事等歴任。●学習教室・上尾自由園代表 ●上尾高校同窓会理事 ●上尾市山形県人會顧問 ●アムネスティ(世界人権救済機構)日本支部会員 ●京市小学校PTA会長 ●(財)埼玉東生学塾保護者協議会会員 ●妻、子供2人の4人家族